

平成27年(2015年)11月1日発行

## キャンパスリニューアル

### 中庭に新たな癒しスポット 池と遊歩道が完工



8月初旬〜10月末日に掛け、平成27年度後援会特別事業である「本館東側中庭池造成工事」が完工した。  
本事業は、今まで素掘りだった湧水池を新たな中庭池に整備するもので、周囲にある既存の樹林帯を最大限に活かす形で設計されている。  
また、池水の浄化を目的に、吸リン剤や水草を利用した濾過方式を取り入れた循環装置を設け、水質の維持を可能にした。これにより、生物群集の生息空間(ビオトープ)を作り出し、「生物多様性・生命の環」を学ぶ場としても大いに活用できると考えている。さらに、循環水配管の吐出側に隣接する「災害時用マンホールトイレ(既存)」の管路洗浄水や緑地用散水として複数の蛇口を設ける工夫もしている。

このほか、池周囲の遊歩道の舗装には、大学内の樹木剪定時に発生した木・枝をチップ化したものを敷き詰め、自然と調和した優しい雰囲気仕上げていく。また、今回の事業とあわせて、遊歩道と建物間に、既存の西側池と一体感を保つため同種の低木や地被類で緑地帯を整備し、庭園灯も新設した。

散策する学生等には心と目を楽しませると同時に、環境保全と環境保全意識の向上に貢献している。

## 第47回若杉祭開催!

11月1日(日)〜3日(火・祝)開催



昨年の様子

### テーマ「one~1つになる~」

本年も11月1日(日)〜3日(火・祝)の3日間にわたり若杉祭が開催されます。今年の若杉祭のテーマは「one~1つになる~」ということで、例年にはないonly oneな若杉祭を大学祭実行委員会一同、参加団体の方々や協力して下さった地域の皆様と1つになって作れたらと思います。初めて足を運んでくださる方も、毎年来てくださっている方も楽しめるような若杉祭となっていますので、ぜひご来場ください。

大学祭実行委員会委員長 渡邊繁樹

## オープンキャンパスのお知らせ

### 11/21(土)入試直前対策をチェックしよう!

大学・学科紹介、研究室・施設見学ツアー、入試対策講座(面接・英語・数学)、進路・入試の個別相談 など...  
お問い合わせ・お申込み先: 教務部入試室  
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

## 秋季学位記授与式・入学式

秋の大型連休2日目である9月20日(日)、平成27年度の秋季学位記授与式・留学生別科修了証書授与式、秋季入学式が本学の14号館5階会議室において開催された。  
当日は爽やかな秋晴れの中、午前9時30分より秋季学位記授与式・留学生別科修了証書授与式が挙行され、今年度は学部

55名、大学院博士前期課程3名、留学生別科12名(早期修了である2名を含む)の合計70名が本学を卒業・修了した。  
告辞では波多野学長が、卒業生の歩んできたそれぞれの卒業・修了までの道のりに触れ、「ここに至るには、さまざまな人々の支えがあったことを忘れていけない」

い。そして、人々を支えることに、喜びを感じる人になってほしい」と卒業生・修了生たちにエールを送った。  
そして場所を同じくして正午からは平成27年度秋季入学式が挙行された。今年度本学へ入学したのは、学部11名、留学生別科26名の合計37名。当日はヒザの都合等で、式への出席がかなわなかった入学生もいたが、柳澤理事長をはじめ、工友会会長、駒場高校・中学校から駆け付けた先生方、国際交流みやしろの会長といった来賓の方々、入学生の保護者や友人など多くの参加者で賑わい、華やかな式となった。



学位記を授与される大学院修了生

### 就職支援情報

## 就職支援への取り組みが高評価 U・インターン就職促進協定締結

### 就職支援で5位

「日経キャリアマガジン特別編集・価値ある大学2016年版」の上場企業の人事担当者から見ると、本学が「就職支援に熱心に取り組んでいる大学」5位となった。

この評価は、これまでの卒業生の活躍はもろもろのこと、一番の大きな要因は本学で実施する「学内合同企業説明会」、「個別企業説明会」の積極的実施と企業対応に対する評価ではないかとみている。例えば、対象学生一人ひとりの声かけによる参加者数の確保と、参加企業への事前申込み者の状況報告、さらに参加後の学生に対するフォローを丁寧に行っている点が評価され、それが結果となったとみている。

今後は低学年も参加対象とし、キャリア教育を兼ねた就職支援企画として学生の就業意欲や意識を早い時期から醸成させる所存である。  
地方自治体とのU・インターン協定  
地方出身学生のU・インターン就職の促進と県外出身学生のU・インターン就職を促進するため、緊密な相互連携や協力の取り組みを行う事を目的として、長野県、栃木県、茨城県、群馬県、新潟県(予定)の5県と就職協定を結んだ。さらに、多くの学生が例年になくみられ、企業は予想外の内定辞退者の多さに戸惑いと不安を隠せない様子である。いつ終了するのか予想できない新スケジュールは今後検討されることとなる。よすがが、学生と企業の双方にメリットのある改定を期待したいものである。



栃木県との就職協定締結式(右が竹内学生支援部長)

## 日本工業大学 工学部 平成28年度入試日程

●機械工学科 ●ものづくり環境学科 ●創造システム工学科 ●電気電子工学科 ●情報工学科 ●建築学科 ●生活環境デザイン学科

入試種別	日程
特別奨学生入試 [筆記試験、調査書および面接による選考]	第2期 出願期間 1/6(水)~1/22(金) <sup>*2</sup> 試験日 1/31(日)~2/2(火) 本学(都合のよい日を選択)
一般入試	一般入試A 出願期間 1/6(水)~1/22(金) <sup>*2</sup> 試験日 1/31(日) 本学・郡山・水戸・高崎・柏・東京・横浜・静岡 2/1(月) 本学・仙台・東京・新潟・長野・富山
	一般入試B 2/2(火) 本学・宇都宮・千葉・東京 2/18(木) 本学・東京
センター利用入試	センター利用入試A センター利用入試B センター利用入試C 出願期間 1/6(水)~1/28(木) 2/2(火)~2/12(金) <sup>*3</sup> 2/26(金)~3/7(月)
AO入試	第3期 AOエントリー入試 エントリー期間 11/4(水)~11/12(木) <sup>*4</sup> 面接日 11/21(土)・28(土) 内定日 12/1(火)
	第4期 1/29(金)~2/25(木) 書類受理後に連絡 3/3(木)まで
・AOエントリー入試 ・AOコーディネータ入試	コーディネータ入試の申込期間 平成28年2月25日(木)まで、随時受付 出願期間 12/3(木)~12/10(木) 合格発表 12/19(土)

## 本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集 (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

### ◆大学院工学研究科

博士前期課程・博士後期課程

\*環境共生システム学専攻  
\*電子情報メディア工学専攻

\*機械システム工学専攻  
\*建築デザイン学専攻

### ■平成28年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

二次募集	日程		
	出願期間	面接試験	合格発表
	平成28年2月10日~2月17日	2月24日	3月4日
			平成28年3月10日

お問合せ先: 教務部教務課 大学院入試係 TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

※1 インターネット出願は、12/19(土)より受付開始!  
※2 本学会場で受験を希望する方で、出願書類を持参する場合には、1/23(土)・25(月)も入試室窓口で受け付けます。  
※3 出願書類持参の方に限り、2/13(土)も入試室窓口で出願を受け付けます。  
※4 11/21(土)進学相談会でエントリー可(同日に第1回面接を実施)  
[試験会場は本学・東京を設置! (専門高校入試(B工学科)、一般推薦入試(公募制))]  
<出願期間>第1期: 11/2(月)~11/6(金)、第2期: 11/24(火)~12/8(火)  
<面接日と面接会場>第1期: 11/13(金)東京、11/14(土)本学、第2期: 12/11(金)東京、12/12(土)本学  
\*各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。願書のご請求およびお問い合わせ先 入試室 電話: 0120-250-267



電気電子工学科・平栗健史准教授

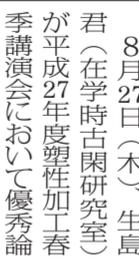
電子情報通信学会  
研究賞を2年連続受賞



7月6日(月)、平栗准教授が昨年に続き「コミュニケーションシミュレーション」で電子情報通信学会研究賞を受賞した。2年連続の研究賞受賞は本研究会で初の業績である。受賞論文名は「イン...

機械システム工学専攻修了・生島彰之君

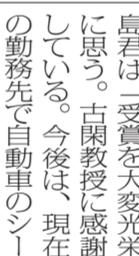
日本塑性加工学会  
優秀論文講演奨励賞



8月27日(木)、生島君(在学時古閑研究室)が平成27年度塑性加工春季講演会において優秀論文講演奨励賞を受賞した。論文名は「ゼロクリ...

機械システム工学専攻博士前期2年・小山寛人君

日本実験力学学会で受賞



8月28日(金)、梅崎教授が論文賞、同研究室所属の小山君が奨励賞を受賞した。梅崎教授の受賞論文は「アンカースクリューを...

電子情報通信学会  
ベストポスター賞

電子情報通信学会  
ベストポスター賞

7月6日(月)、中島君(大田研究室)が学会「明るさ」「抑揚」「緩急」などの音響的特徴を付与した変換音を用いて、オリティ研究会のベストポスター賞を受賞した。受賞論文名は「喜びの演劇的音声の合成品質に影響する音響的特徴」。



本研究では「高さ」「明るさ」「抑揚」「緩急」などの音響的特徴を付与した変換音を用いて、オリティ研究会のベストポスター賞を受賞した。受賞論文名は「喜びの演劇的音声の合成品質に影響する音響的特徴」。

専門職大学院だより

ベンチャー起業の薦め

大学院技術経営研究科・教授 平川 淳

私は専門職大学院で「実践的起業論」「グローバル化と標準化」「営業ツール」の講義をしています。これらのテーマは「一見まったく関連のないようなテーマに見えますが、実は起業するうえでこの3テーマは緊密に連携しています。起業するにあたっては、まず自分がやりたい事業のテーマを決めなければいけません。

「実践的起業論」「グローバル化と標準化」「営業ツール」の講義をしています。これらのテーマは「一見まったく関連のないようなテーマに見えますが、実は起業するうえでこの3テーマは緊密に連携しています。起業するにあたっては、まず自分がやりたい事業のテーマを決めなければいけません。

「実践的起業論」「グローバル化と標準化」「営業ツール」の講義をしています。これらのテーマは「一見まったく関連のないようなテーマに見えますが、実は起業するうえでこの3テーマは緊密に連携しています。起業するにあたっては、まず自分がやりたい事業のテーマを決めなければいけません。

専門職大学院オープンキャンパス 2015 12/5(土) 2016 2/6(土) 説明会、模擬授業、パネル討論会、キャンパスツアー等

第48期決算・第49期予算  
日本工業大学の財務状況について

一はじめに  
第48期決算、第49期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人評議員会で承認決定されたため、ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力・ご支援をお願いいたします。

年度教育では、教育の充実・発展を目標に掲げ、日本語IRT試験の導入、アクティブラーニング型授業ができる教室を拡充した。学生・教職員と近隣住民の安全確保のため大規模災害時を想定して「井戸水浄化装置」を導入。備蓄倉庫と併せ、避難場所としての機能を充実させた。また、AEDの配備を3台から15台に増設。学生・教職員も参加した講習会も実施した。

学校法人会計基準に基づく主たる財務諸表には次の3表がある。①全ての資金の流れとその期末を示す「資金収支計算書」(別表1)、②各年度における収支の均衡や財務状況の健全性を示す「5つ星

指標となる「消費収支計算書」(別表2)、③決算時点における財政状態を明らかにした「貸借対照表」(別表3)の3表である。また(別表5)にて「消費収支計算書の主要項目の分析表」を添付。詳細については別表をご参照いただきたい。(消費収支計算書) 収入の部

学生生徒等納付金は、学生数の減少により約1億2400万円の減少、手数料も約1800万円の微減となった。寄付金は約9600万円、前年度の一過性の要因がなくなり、3200万円の減少となった。補助金は、経常補助金が1800万円増加したが、施設設備

等補助金が減少し、全体で約5000万円の減少となった。資産運用収入も前年度の償還差益の要因がなくなり、6300万円の減少となった。雑収入では、前年度比1900万円の増、退職者増の要因によるものであり、全国的にも高い水準を維持している。管理経費は総額で5億7500万円、前年比700万円減少。

平成27年度より学校法人会計基準の一部が改正され、「大学を取りまく利害関係者に対する説明責任の強化」が求められている。資金収支計算書では、一部科目名称が変更となり、企業会計に近い。大学の実態が分かりやすくなった。平成27年度予算は、前年度決算を踏まえ、学部・大学院共学生数を厳し目に予測した。補助金は耐震化・防災等への更なる備えを目的に、今後も積極的に申請・獲得を目指す。教育研究経費支出は更なる教育内容の充実・発展を目指す予算となった。

四・むすび  
平成29年度に大学は設立50周年を迎える。新講義棟の建設、クラブ棟・学生食堂の建て替え等大きな事業が予定されている。そのためには、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、引き続き関係各位のご協力・ご支援をお願い申し上げます(財務部)

(別表1) 資金収支計算書 単位:千円

科目	H26年度	H25年度	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	6,264,301	6,388,449	△124,148
手数料収入	74,474	76,268	△1,794
寄付金収入	71,501	109,876	△38,375
補助金収入	506,683	557,198	△50,515
資産運用収入	177,356	235,266	△57,910
資産売却収入	0	0	0
事業収入	50,319	49,188	1,131
雑収入	213,026	193,109	19,917
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,193,586	2,257,423	△63,837
その他の収入	1,054,431	490,319	564,112
資金収支調整勘定	△2,508,299	△2,458,228	△50,071
前年度繰越支払資金	3,482,903	3,921,005	△438,102
収入の部合計	11,580,281	11,819,873	△239,592

(別表2) 消費収支計算書 単位:千円

科目	H26年度	H25年度	増減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	6,264,301	6,388,449	△124,148
手数料	74,474	76,268	△1,794
寄付金	96,159	128,395	△32,236
補助金	506,683	557,198	△50,515
資産運用収入	156,086	219,587	△63,501
資産売却差額	0	0	0
事業収入	50,319	49,188	1,131
雑収入	271,505	251,772	19,733
その他の収入	0	0	0
帰属収入合計	7,419,527	7,670,857	△251,330
基本金組入額合計	△686,164	△1,123,744	437,580
消費収入の部合計	6,733,363	6,547,113	186,250

(別表3) 貸借対照表 単位:千円

科目	H26年度	H25年度	増減
資産の部			
固定資産	43,354,871	42,836,559	518,312
有形固定資産	20,091,295	20,622,339	△531,044
その他の固定資産	23,263,576	22,214,220	1,049,356
流動資産	4,280,178	3,973,048	307,130
合計	47,635,049	46,809,607	825,442

(別表4) 資金収支計算書 単位:千円

科目	H27年度	H26年度	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	6,055,646	5,910,710	144,936
手数料収入	69,440	52,000	17,440
寄付金収入	65,750	67,030	△1,280
補助金収入	510,000	426,000	84,000
付随事業・収益事業収入	45,478	31,603	13,875
受取利息・配当金収入	122,300	102,500	19,800
資産売却収入	0	0	0
雑収入	197,120	149,511	47,609
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,982,827	1,982,382	445
その他の収入	1,437,279	1,568,078	△130,799
資金収支調整勘定	△2,193,586	△2,257,423	63,837
前年度繰越支払資金	4,010,722	3,482,903	527,819
収入の部合計	12,302,976	11,515,294	787,682

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	H26年度	H25年度	増減
補助金/帰属収入	6.8%	7.3%	-0.4%
人件費/帰属収入	38.4%	35.5%	2.9%
教育研究経費/帰属収入	34.5%	32.6%	1.9%
管理経費/帰属収入	7.8%	7.6%	0.2%
借入金等利息/帰属収入	0.4%	0.5%	-0.1%
人件費/学生納付金	45.5%	42.6%	2.9%

# 小中学生対象のものづくり体験教室を実施

## 夏休みの自由研究テーマとして人気

イベント名称	主な内容	実施日	参加数
中学生科学教室	骨伝導スピーカー製作など	7/25(土)	14名
親子ものづくり教室(2部制)	木炭電池製作など5テーマ	8/1(土)	152名
加須市少年少女発明クラブ体験教室	光追跡マイクロロボット製作	8/5(水)	40名
関東地区リフレッシュ理科教室	理科実験、LED工作実験	8/22(土)	46名
子ども大学みやしろ(全4回)	物理実験、和菓子づくりなど	9~10月	54名

夏休みの期間を利用して、小・中学生や保護者を対象とした各種体験教室を実施した。理科や工業技術への興味喚起を目的として毎年実施している。上記の通り講義、実験、製作・実習などバラエティに富んだ内容で、各学科および共通教育系の教員や学生が丁寧に指導を行った。小・中学生にとっては夏休みの自由研究のテーマとしても最適で、また、大学キャンパスで大学教員から指導を受けられる機会とあって、各イベントとも定員を超える応募があった。



親子ものづくり教室



加須市少年少女発明クラブ体験教室



関東地区リフレッシュ理科教室



子ども大学みやしろ

# 彩の国連携力育成プロジェクト IPW実習に取り組み 4大学の学生

8月24日(月)〜27日(木)、彩の国連携力育成プロジェクトの一環として埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学と本学の学生が参加する「IPW実習」が実施された。保健医療福祉の現場でIPW(専門職連携実践)を体験的に学ぶことを目的とした埼玉県立大学の科目を各大学に導入するための4回目の試行である。異なる分野を学ぶ学生がチームを組み、3日目までは患者・利用者・家族・担当の専門職等と直接関わり、ケアの方針について議論と提案を行った。4日目の報告会では各チームが活動と提案について発表した。他分野



4大学の学生がチームに分かれてディスカッション

# 熊本、新宿のコンペで受賞

形式で選考が行われた。小川研究室の提案は、全体がコンクリートと木材で構成され、屋内の壁と天井部分に角材が露出したユニークな設計となっている。8月26日(水)の公開審査で「全」てにおいてデザイン性と機能性のバランスがとれている」と評価され、審査員全員一致で最優秀賞に決定した。

9月1日(火)から5日間、第13回全日本学生フォーミュラ大会が静岡県で開催された。参加86チームのうち全種目完走が僅かに15チームという厳しい状況の中、フォーミュラ工房を中心とする本学チームが「省エネ賞第1位」を獲得した。省エネ賞は、燃

費とスピードのバランスで評価され、本学チームの高い技術力が証明されたものといえる。さらに、2年連続で全種目完走を達成し、総合順位では過去最高の9位を獲得した。工房責任者の中野道王教授は「6回目の挑戦でようやく手にした上位入賞は、多くの方の支援があつてこそ達成できたものであり、心から感謝申し上げたい」とコメントしている。

省エネ賞第1位を獲得

学生フォーミュラ大会

省エネ賞第1位を獲得

学生フォーミュラ大会

# 日本工業大学吹奏楽団 第32回定期演奏会

12/13(日)開催 入場無料  
春日部市民文化会館大ホール  
[http://blogs.yahoo.co.jp/nit\\_wind](http://blogs.yahoo.co.jp/nit_wind)



車体は毎年、新たに設計・製作される

人事異動

国外出張

アル国際会議での研究発表

みやしろの桜イルミネーション

町代よ 宮だ 198号

【任用】(9月1日付)  
白田昌弘事務職員(財務課)  
吉澤慎吾事務職員(入試室)  
中村久美子事務職員(就職支援課)  
加藤良治事務職員(就職支援課)  
【昇任】(10月1日付)  
呉志良准教授(共通教育系) ↓教授に昇任  
木許雅則講師(電気電子工学科) ↓准教授に昇任  
劉雯講師(共通教育系) ↓准教授に昇任  
鈴木仁講師(共通教育系) ↓准教授に昇任  
【任命】(10月1日付)  
ものづくり環境学科主任  
八木田浩史教授(再任)  
電気電子工学科主任  
神野健哉教授(新任)  
建築学科主任  
那須秀行教授(新任)  
共通教育系主任  
菊地信一教授(再任)  
機械システム工学専攻幹事  
長坂保美教授(再任)  
環境共生システム学専攻幹事  
伴雅人教授(再任)  
システム工学専攻幹事  
伴雅人教授(再任)  
学修支援センター長  
川合耕一郎(再任)  
工務教育推進本部長兼担  
中野道王教授(再任)  
【解任】(9月30日付)  
教務部長補佐  
神野健哉教授  
【退職】(10月31日付)  
Vu Thi Huynh 事務職員(留学生別科)

◆於保 茂教授(電気電子工学科) / 出張先中国(7/27~7/31) / 目的: 中国制鋼学会にて研究発表  
◆大橋裕太郎助教(情報工学科) / 出張先フィリピン(8/4~8/7) / 目的: 埼玉・セブのものづくり人材育成事業  
◆西本真一教授(建築学) / 出張先エジプト(8/4~8/20) / 目的: エジプト・アクリス遺跡建築調査  
◆樋口佳樹准教授(生活環境デザイン学) / 出張先フィリピン(8/5~8/8) / 目的: 埼玉・セブのものづくり人材育成事業  
◆張 曉友教授(機械工学科) / 出張先中国(8/6~8/21) / 目的: 工学と自然科学に関する国際会議での研究発表  
◆西本真一教授(建築学) / 出張先イタリア(8/23~9/1) / 目的: 23~9/1 / 目的: The 11th International Congress of Egyptologistsへの参加  
◆鈴木宏典准教授(ものづくり環境学) / 出張先中国(8/25~8/26) / 目的: 第2回オートモティブ・テクノロジード・チャイナ2015での講演  
◆劉 雯講師(共通教育系) / 出張先中国(8/26~9/1) / 目的: 工学系女子学生の専攻分野選択の要因分析に関する調査結果のまとめ  
◆古閑伸裕教授(機械工学科) / 出張先タイ(8/27~9/3) / 目的: 留学フェアにおける学生募集活動および国際インターシップ参加学生の引率  
◆伴 雅人教授(創造システム工学科) / 出張先ポランド(8/29~9/5) / 目的: 欧州バイオマテリア

◆江藤 香准教授(情報工学科) / 出張先シンガポール(9/5~9/10) / 目的: 知識ベース、知的情報とエンジニアリングシステムの国際会議での研究発表  
◆那須秀行教授(建築学) / 出張先カナダ(9/6~9/17) / 目的: 2x4木造建築工房によるカナダ研修所での建設作業指導  
◆勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学) / 出張先カナダ(9/6~9/17) / 目的: カナダ(9/6~9/17) / 目的: 同前  
◆野口憲治助手(建築学) / 出張先カナダ(9/6~9/17) / 目的: 同前  
◆黒津高行教授(生活環境デザイン学) / 出張先ネパール(9/7~9/19) / 目的: 2015年 IEEES 国際低炭素学会での論文発表・国際低炭素学会出席のため  
◆神野健哉教授(電気電子工学科) / 出張先香港(10/10~10/13) / 目的: 2015年 IEEES 学会、人間サイバネティクスに関する国際会議での研究発表  
◆吉田 清教授(電気電子工学科) / 出張先アメリカ(10/10~10/17) / 目的: 第61回 IEEE EEC 国際会議にて研究発表  
◆野口憲治助手(建築学) / 出張先オランダ(10/20~10/27) / 目的: 第10回 シンボルトコレクション国際会議にて研究発表

◆神林 靖准教授(情報工学科) / 出張先ポランド(9/18~9/24) / 目的: 第36回情報システムアーキテクチャ技術国際会議にて論文発表  
◆武田光史教授(建築学) / 出張先インドネシア(9/25~9/30) / 目的: 25~9/30 / 目的: 同前  
◆野島とジャカルタの集合住宅の視察  
◆二宮進一准教授(機械工学科) / 出張先韓国(10/4~10/8) / 目的: 国際低炭素学会での論文発表・国際低炭素学会出席のため

◆神 雅彦教授(機械工学科) / 出張先タイ(8/31~9/3) / 目的: 国際インターシップ参加学生の引率  
◆梅崎栄作教授(機械工学科) / 出張先イギリス(8/31~9/5) / 目的: 第10回先端実力学に関する国際会議にて研究発表  
◆劉 雯講師(共通教育系) / 出張先中国(9/2~9/9) / 目的: 中国武漢の協定機関における募集活動等

◆勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学) / 出張先カナダ(9/11~9/12) / 目的: カナダ研修所および

◆野口憲治助手(建築学) / 出張先カナダ(9/11~9/12) / 目的: カナダ研修所および

友人との思い出など、様々な想いを絵馬に書いて桜に飾り付けましょう。絵馬は点灯期間中掲示します。詳細は、広報みやしろ11月号をご覧ください。11月12日(土)から、商工会館前中須用水沿いの桜並木をイルミネーションでライトアップします。11月21日(土) 13時からの準備作業の参加者にはハート型の絵馬をプレゼント! 家族の記念や

▼「学生の真実 探究の態度は多岐にわたる」

編集後記

探究の態度は多岐にわたる。無節操でなくてはなりません。無節操でなくてはなりません。この言葉は吉野作造の『学生に対する希望』の一節だ。彼は普通選挙論、軍部改革論などの民本主義を主張し、当時の知識人に多大な影響を与えた政治学者である。私事で恐縮だが、筆者の高校の大先輩でもある▼通常「無節操」なる言葉は人物の評価において否定的に使われている。また、「多情」という言葉にも「浮気者」なる悪いイメージがまとうりついでに。だが、真理を追求するにあたって「常により正しからんと」して、いつでも態度を改めようという「用意」がなければ思考は硬直する、と彼は主張している▼一つの方角で行き詰まった時に、そこで適当に手を打つか、諦めるか、どちらかしか道はなくなる、という意味だ▼真理の探究に重きを置く限り、決死の覚悟が必要なのだと感じる言葉だ。